



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月6日

上場会社名 株式会社 ニレコ 上場取引所 東
 コード番号 6863 URL <https://www.nireco.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中杉 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 佐々田 卓也 TEL 042-642-3111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無: 無
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	7,570	7.5	1,292	24.8	1,393	24.7	1,013	30.6
2024年3月期第3四半期	7,041	10.8	1,035	50.3	1,117	47.5	775	55.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 751百万円(△34.2%) 2024年3月期第3四半期 1,142百万円(66.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	136.96	135.03
2024年3月期第3四半期	105.43	103.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	18,456	16,109	86.8
2024年3月期	18,573	15,825	84.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 16,018百万円 2024年3月期 15,722百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	42.00	62.00
2025年3月期	—	24.00	—		
2025年3月期(予想)				55.00	79.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,600	7.5	1,680	21.1	1,800	22.4	1,290	27.6	174.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有
 連結業績予想の修正の詳細については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想
 などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名)京浜光膜株式会社、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	7,750,159株	2024年3月期	7,735,849株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	337,537株	2024年3月期	359,137株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	7,398,137株	2024年3月期3Q	7,357,517株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続、中東地域情勢に伴う影響などがあった一方、米国では個人消費や設備投資が増加し、ヨーロッパ地域では一部で足踏み状態ではあるものの景気の持ち直しの動きが見られました。我が国においては、雇用・所得環境が改善する中で企業の設備投資とともに個人消費にも持ち直しの動きが見られました。また、インバウンド消費が継続するなど景気は緩やかな回復基調となり、消費者物価の上昇が続きました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先である半導体や電子部品、鉄鋼、フィルム、印刷、食品など各メーカーの設備投資は、業種により強弱はあるものの、回復基調が続きました。

このような状況の中、当社グループはいかなる環境下においても成長できる企業グループの実現に向け、引き続き当社グループのコア技術である画像処理、センシング及び光学技術の強化を進めたほか、グループ内の組織変更などを行うことで収益性の改善に努めました。また、今後のオプティクス事業の一層の成長を図るべく、2024年10月1日に京浜光膜株式会社を子会社化するなど、事業の拡大に向けた取り組みを行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高7,570百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益1,292百万円（前年同期比24.8%増）、経常利益1,393百万円（前年同期比24.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,013百万円（前年同期比30.6%増）となりました。

また、受注残高は5,474百万円（前期末比0.4%増）となりました。

なお、当社では、本年4月1日に蛇行制御等について共通の技術基盤を持つプロセス事業部、ウェブ事業部を統合し、新たに制御機器事業部を発足させました。本組織変更に伴う各事業活動の実態を適切に表すよう、第1四半期より経営区分の見直しを図り、従来「プロセス事業」「ウェブ事業」と区分していた事業を統合し「制御機器事業」とする報告セグメントの一部変更を行いました。報告セグメントの変更に伴い、各事業の売上高、セグメント利益の一部変更しています。また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。詳細は、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）をご参照ください。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①制御機器事業

売上高 4,012百万円（前年同期比0.3%減）
セグメント利益 1,009百万円（前年同期比28.8%増）
受注残高 3,292百万円（前期末比3.9%増）

鉄鋼・非鉄金属業界分野では、鉄鋼メーカーの設備投資は引き続き堅調であり、高水準の期初受注残高から売上高は前年同期比で増加しました。利益面においては、売上高の増加、利益率の高い製品の販売割合が高かったこと、利益確保に向けた意識の向上などにより前年同期比で増加しました。

フィルム・印刷分野においては、二次電池業界から製造装置メーカーへの先行発注が一段落したこともあり、受注高と売上高は前年同期比で減少しました。一方、利益面では、利益率の高い製品販売の増加や組織改編を含めた利益改善努力の奏功により利益率が改善し、前年同期比で増加しました。

この結果、制御機器事業全体では減収増益となりました。

②検査機事業

売上高 1,121百万円（前年同期比7.0%減）
セグメント損失 42百万円（前年同期セグメント利益58百万円）
受注残高 671百万円（前期末比1.1%増）

無地検査装置、食品品質検査装置のいずれにおいても受注が低調に推移し、売上高は前年同期比で減少、セグメント損失となりました。

③オプティクス事業

売上高 2,136百万円 (前年同期比53.2%増)
 セグメント利益 822百万円 (前年同期比42.3%増)
 受注残高 1,339百万円 (前期末比11.2%減)

半導体製造・検査装置業界向け光学部品の受注は深紫外光を用いた装置の需要の高まりなどにより旺盛に推移し、売上高は前年同期比で大幅に増加しました。利益面においても、売上高の増加による生産効率の良化や収益性の高い製品の販売増を受け、前年同期比で大きく増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて117百万円減少して18,456百万円となりました。

これは主に原材料及び貯蔵品の増加468百万円、土地の増加337百万円、現金及び預金の減少605百万円、投資有価証券の減少343百万円によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末に比べて401百万円減少して2,347百万円となりました。

これは主に未払費用の減少163百万円、支払手形及び買掛金の減少143百万円によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べて283百万円増加して16,109百万円となりました。

これは主に利益剰余金の増加525百万円、その他有価証券評価差額金の減少220百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、特に制御機事業においては、業績予想時点で想定した利益率を上回る製品の販売が多かったことなどから第3四半期までの業績が予想を上回る水準で推移し、本日下記の修正を行っています。

なお、業績見通しの変更に伴い、当社の株主還元の目標値である連結配当性向45%以上かつ連結株主資本配当率(DOE) 2.5%以上に基づき、配当予想についても修正しています。

●連結業績予想の修正について

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	1,400	1,470	1,050	141.86
今回発表予想(B)	10,600	1,680	1,800	1,290	174.28
増減額(B-A)	600	280	330	240	-
増減率(%)	6.0	20.0	22.4	22.9	-
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	9,861	1,386	1,470	1,011	137.36

●期末配当予想の修正の内容

	1株あたり配当金(円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2024年11月13日公表)	-	40円00銭	64円00銭
今回修正予想	-	55円00銭	79円00銭
当期実績	24円00銭	-	-
前期実績 (2024年3月期)	20円00銭	42円00銭	62円00銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,354,239	3,748,871
受取手形、売掛金及び契約資産	3,523,982	3,576,468
電子記録債権	652,186	585,092
有価証券	30,753	26,094
商品及び製品	1,446,213	1,551,198
仕掛品	1,059,292	1,069,619
原材料及び貯蔵品	1,039,214	1,507,800
その他	243,468	179,809
貸倒引当金	△2,097	△1,850
流動資産合計	12,347,253	12,243,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,605,238	1,639,644
機械装置及び運搬具（純額）	189,467	204,231
工具、器具及び備品（純額）	151,834	139,120
土地	1,681,056	2,018,175
建設仮勘定	—	6,990
有形固定資産合計	3,627,596	4,008,163
無形固定資産		
のれん	42,880	28,586
リース資産	14,734	10,588
その他	118,610	79,112
無形固定資産合計	176,225	118,287
投資その他の資産		
投資有価証券	2,071,060	1,727,678
長期貸付金	27,581	21,899
退職給付に係る資産	149,046	174,134
繰延税金資産	58,392	46,701
破産更生債権等	18,704	18,704
その他	163,495	163,678
貸倒引当金	△65,790	△66,092
投資その他の資産合計	2,422,490	2,086,705
固定資産合計	6,226,313	6,213,156
資産合計	18,573,566	18,456,260

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	576,754	433,491
1年内返済予定の長期借入金	21,572	18,986
リース債務	5,955	5,115
未払費用	533,504	369,762
未払法人税等	302,036	206,751
未払消費税等	125,538	97,694
契約負債	145,200	160,133
役員賞与引当金	44,100	31,971
工事損失引当金	25,258	35,941
その他	218,987	265,424
流動負債合計	1,998,909	1,625,272
固定負債		
長期借入金	133,222	119,638
リース債務	9,250	5,877
長期未払金	—	2,115
繰延税金負債	291,339	296,288
役員退職慰労引当金	142,136	149,152
退職給付に係る負債	116,687	72,267
資産除去債務	56,710	76,460
固定負債合計	749,346	721,800
負債合計	2,748,255	2,347,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,084,630	3,094,819
資本剰余金	4,134,400	4,144,491
利益剰余金	7,446,175	7,971,723
自己株式	△252,037	△236,878
株主資本合計	14,413,169	14,974,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	969,798	749,417
為替換算調整勘定	256,035	260,066
退職給付に係る調整累計額	83,276	34,555
その他の包括利益累計額合計	1,309,110	1,044,039
新株予約権	87,083	72,044
非支配株主持分	15,947	18,948
純資産合計	15,825,311	16,109,187
負債純資産合計	18,573,566	18,456,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	7,041,950	7,570,101
売上原価	4,192,066	4,392,295
売上総利益	2,849,883	3,177,805
販売費及び一般管理費	1,814,566	1,885,495
営業利益	1,035,317	1,292,309
営業外収益		
受取利息	4,982	6,331
受取配当金	68,759	82,863
その他	12,277	27,855
営業外収益合計	86,019	117,050
営業外費用		
支払利息	1,951	2,047
投資有価証券売却損	—	4,244
為替差損	—	8,648
固定資産除却損	657	580
リース解約損	803	—
その他	562	315
営業外費用合計	3,975	15,837
経常利益	1,117,361	1,393,522
特別利益		
投資有価証券売却益	12,398	—
負ののれん発生益	—	55,232
特別利益合計	12,398	55,232
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	21,999	—
特別損失合計	21,999	—
税金等調整前四半期純利益	1,107,759	1,448,755
法人税等	331,030	432,270
四半期純利益	776,729	1,016,484
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,034	3,212
親会社株主に帰属する四半期純利益	775,694	1,013,272

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	776,729	1,016,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	270,012	△220,380
為替換算調整勘定	75,607	3,819
退職給付に係る調整額	20,056	△48,721
その他の包括利益合計	365,675	△265,282
四半期包括利益	1,142,404	751,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,140,571	748,202
非支配株主に係る四半期包括利益	1,832	3,000

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額及び負ののれん発生益は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	216,315千円	209,770千円
のれんの償却額	14,293	14,293
負ののれん発生益	—	△55,232

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	制御機器 事業	検査機 事業	オペティ クス事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,025,895	1,205,987	1,395,212	6,627,094	414,856	7,041,950	—	7,041,950
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,025,895	1,205,987	1,395,212	6,627,094	414,856	7,041,950	—	7,041,950
セグメント利益	783,629	58,058	577,788	1,419,475	43,615	1,463,090	△427,773	1,035,317

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△427,774千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	制御機器 事業	検査機 事業	オプティ クス事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,012,049	1,121,116	2,136,855	7,270,020	300,081	7,570,101	—	7,570,101
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,012,049	1,121,116	2,136,855	7,270,020	300,081	7,570,101	—	7,570,101
セグメント利益又は損失(△)	1,009,383	△42,099	822,253	1,789,537	△40,434	1,749,103	△456,794	1,292,309

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△456,794千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間において、京浜光膜株式会社の株式を取得し子会社化したことにより、「オプティクス事業」セグメントにおいて、負ののれん発生益を認識しています。当該事象による負ののれん発生益の計上額は55,232千円です。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれていません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「プロセス事業」、「ウェブ事業」、「検査機事業」及び「オプティクス事業」の4つを報告セグメントとしていましたが、共通の技術基盤を持つ「プロセス事業」と「ウェブ事業」を統合し、リソースの集約による業務の効率化及び意思決定のスピードアップを図るため、新たに「制御機器事業」を発足させました。これにより「制御機器事業」、「検査機事業」及び「オプティクス事業」の3つへ報告セグメントを変更しました。報告セグメントの変更に伴い、各事業の売上高、セグメント利益を一部変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。